

北九州憲法ネットニュース

2006年5月16日(火) 第12号

発行 憲法をまもる北九州市民ネットワーク

802-0841 北九州市小倉南区北方4丁目1番15-701号

Tel & fax 922-4014 E-mail⇒mail@kitaq-kenpou.net

URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

変えたらいかんちゃ! 九条は! 「憲法集会」に470人参加

5月3日、「2006年北九州憲法集会」がムーブで開かれました。470人が会場を埋め、憲法を守る気概に満ちた集会となりました。この集会を主催する同実行委員会を代表して、多加喜悦男弁護士が「戦争を体験した私は、戦争の悲惨さを忘れない。戦争はどうしても止めねばならない。一番危険な国はアメリカだ。このアメリカの先兵に日本はなろうとしている」と挨拶しました。来賓として「平和憲法から学ぶ会」の馬場市議員が駆けつけ、挨拶されました。

集会の第1部は、朗読劇「新憲法作成請負会社」です。笑いの中に、憲法改悪の危険性を訴えるもので、北九市大の植木敦先生、弁護士の我覇那東子さん、第一法律事務所の澤幸夫さん、福建労小倉支部の村上一法さんなどの熱演に参加者は拍手喝采でした。

第2部は、「ズッコケ三人組 平和を語る」と題して児童文学者・奈須正幹さんが講演しました。那須さんは、ご自身が被爆者でもあり、原爆や戦争

への思いは人一倍です。「この60年間、日本は被爆国として世界に平和



講演する那須正幹氏

を訴えてきた。この呼びかけを外国は聞いてくれて、世界に平和世論の高まりを作り出せた。背後に平和憲法の説得力があった。いま、憲法を変えれば、わが国の信用をなくすことになる」と訴えました。最後に舞台一杯に並んだ歌声九条の会を中心とした特別合唱団の平和の歌声を楽しんだあと、「国民投票法など憲法や平和を壊す企てを許さず、平和憲法を、より強く大きく育てよう」との集会アピールを採択して集会を終了しました。

門司区九条の会が5月31日に結成総会

「門司区九条の会」(仮称)呼びかけ人会議準備会は、結成総会を5月31日(水)に行うことを案内しています。

これまで活動していた「門司九条の会」が発展的解消して、新たに、門司区の労組などの参加を得て、新しい「門司区九条の会」となります。「心をひとつにして新たなスタートを切ろう」と準備会は張り切っています。

* 結成総会は5月31日(水) 18時30分 門司生涯学習センター講堂

* 第2回「呼びかけ人会議」は5月17日(水)18時30分から門司生涯学習センター会議室で開かれます

わかまつ九条の会が5月3日、街宣とパレード



若松九条の会は5月3日、幟旗10本と参加者10数人で元気よく宣伝行動を展開。このあと商店街でパレードを実施。終了後憲法集会に参加しました。



「北九州教職員九条の会」がアピール発表。6月10日に結成総会

4月から準備されてきた「北九州教職員九条の会」の発足総会がいよいよ6月10日に行われます。現在「アピール」が出され、市内の教職員に賛同の要請が行われています。

アピールには「・・・憎むべき戦争は、一夜にして起きるわけではありません。徐々に、徐々に進んでいくのです。現に、国民投票法案が審議中です。また、教育現場でも不穏な動きを感じるが増えています。・・・子供と教育、平和を守るために、今、何とかしなくては・・・組織や立場を超えて、もっと憲法について学び、平和について語り合い、主権者とし

て確固たる理念を持って国の動きを監視しなければ・・・」と訴えています。

北九州教職員九条の会 結成総会

「日本の未来に連鎖していると思うってまで過激ではない(教職員が、これではいけない)」「子どもと教育、平和を守るために、今、何もしなくてはいけません。そんな思いで『北九州教職員九条の会』を結成することにしました。私たちは、戦争しない!決めた憲法を守りぬを絶対に貫かなくてはなりません。その思いを実現させるためには、組織や立場を超えて、もっと憲法について学び、平和について語り合い、主権者として確固たる理念を持って国の動きを監視していくのが必要だと考えます。ぜひ、『北九州教職員九条の会』結成総会へご参加ください。平和の平和を築いていきましょう。」

とき 6月10日(土) 10:00~12:00
ところ 戸畑生涯学習センター 第一集會室
 戸畑区中本町7-20 882-4281

●40分(休憩)徒歩3分
 ●バス「港生寺前」徒歩1分

◆記念講演◆
「構造改革と改憲がめざすもの」
 講師 勝山吉章さん(福岡大学文学部教授)

1969年自治医科大学、正倉小学校教員、福岡県立福岡大学、卒業後、福岡大学文学部助教授、自治医科大学福岡国際看護学院助教授、その後、ドイツのフランクフルト大学に留学、帰国後、自治医科大学助教授、福岡大学助教授から教授を経て、現在、福岡大学大学院教授、専攻は、ドイツ教育史。

【お問い合わせ】 北九州教職員九条の会事務局: y-tani@kzbbiq.jp 090-9595-1286
 『北九州教職員九条の会』ホームページアドレス: <http://akabayama.jp/info/90902/>

日本国憲法 第二章 選挙の放棄

第九条
 ① 本条は、最高と選挙を監視する国民の権利を保障し、選挙の自由と選挙の公正を確保し、及びその結果として国民の権利を保障するものとして、本条に定める事項を、国民の権利を保障するものとして、これを規定する。これは、選挙の自由、選挙の公正、及び選挙の結果を保障するものとして、これを規定する。

小倉駅デッキで、まもれ教育基本法と暮らし・憲法

5月3日小倉駅前デッキで、「教育基本法改悪反対!まもれ暮らしと憲法」と40数人が元気よく宣伝署名行動を行いました。これは「『教え子を再び戦場に送らない』福岡県退職教職員の会」と「北九州革新懇」「北九州憲法ネット」の合同での取り組みです。



の取り組みです。

参加者の大半は数人の現職教員を含む

「退職教職員の会」メンバーです。「『教え子を再び戦場に送らない』福岡県教職員の会」は毎年憲法記念日に宣伝行動に取り組んでおり、今年で10年目になります。



カンパ・メッセージ有難うございました。(敬称略)

3月 水上平吉、日野三千人

4月 後藤篤子、三輪俊和、三輪幸子、
嶋国勝、竹中久、上西創造、森裕文、
安達恵美子、三原富子、桜河内正明、
樋口コスエ、後藤篤子、小林省三、小
林貴子、北九市職労本庁支部、秀南
ひとみ、扇崎光雄、須崎健一、谷口靖
子、和田恵美子、田村コスエ、今井輝
昭、末次美智、島内弥七、江藤恭子、
一ノ瀬和世、飯田富士雄、竹下秀俊、
八記久美子、上田義彦、上田秀子、内
村敏男、玉井史太郎、

○病院通いが多くてなかなか参加でき
ません。残念です。頑張ってください。

○岩国市民の良識、土佐清水市のみ

3/13 F.T

なさんの素晴らしい活動——日本も
草の根の市民運動が、政治の反動化
に抗し拮がっていることを実感します。

北九州でも！ 3/14 T.F

○共に頑張りましょう！ 3/20 G.N

○ネットニュースありがとうございます。

私たち夫婦は韓国ファンです。韓流
は大変うれしいのですが歴史を知り、
韓国の人の心にふれる流行であり
ますように！韓国のニュースをみる
と外国資本に国を売するような事には
厳しく追及するマスコミ報道。それに
ひかえて日本の政府はとまってしま
います。憲法もんだいも国を売るに
あたいする行為です。もっともっも行

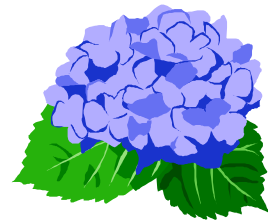
動(アクション)を打って出てストツプ
をかけましょう。知恵と勇気を出して。

4/12 K.S

○日本の宝、世界の宝、人類の宝であ
る憲法を守る運動ご苦労様です。共に

頑張りましょう。4/12 O.M

○5月3日午前中に「若松九条の会」
ののぼり10本を掲げ区内デモ行進
の計画です。9日の定例街頭宣伝も
継続しています。4/27 T.F



今週のひと言【世論調査で、2つの変化】
憲法メディアフォーラム(5月5日付)より

例年5月3日前後に各新聞社が発表している憲法世論調査に、今年は2つの変化が見られた。

第一は、朝日と毎日が、そろって憲法9条についての質問方法を変更し、1項と2項それぞれにつ
いて改正の是非を聞いたことだ。その結果、朝日では「1項だけを変える」「2項だけを変える」「1、
2項とも変える」の合計が43%と、「1、2項とも変えない」の42%を上回った。毎日も同様に改正
賛成派が合計で49%、改正反対派が41%だった。しかし、1、2項を分ける質問方法には、誘導も
感じられる。そもそも「1項だけを変える」という答えは、戦力不保持の2項を純粹に残すのだから、
むしろ強固な護憲論とも言えよう。1、2項ごとに質問した無理が露呈している。

注目すべきは、毎年同じ質問を続けている読売調査で、護憲派が急伸したことだ。これが第二
の、より重要な今年の変化である。3つの回答選択肢のうち「解釈や運用で対応するのは限界なの
で、憲法9条を改正する」は39%。一方、「これまで通り解釈や運用で対応する」「9条を厳密に守
り、解釈や運用では対応しない」とを合わせた明文改憲否定派が54%だった。昨年は前者が4
4%、後者が計46%で拮抗していたから、かなり大きな変化だ

「憲法九条を守る八幡東区の会」(仮称)発会総会の準備進む。

昨年第一回八幡東区九条の会発会準備会をしたままになっていましたが、今年4月13日やっと第二回準備会が開かれました。その席に折尾や上津役、戸畑など他の九条の会の方にも出席していただき経験などのお話をききました。それからは急ピッチで準備が進み、複数回の準備事務局会議、準備世話人会をして次のように発会総会をすることになりました。

準備世話人会では発会総会に向けて、さらによびかけ人の登録依頼や賛同署名を増やして

いくことにしています。5月11日の準備世話人会では、当日は会場がいっぱいになるように賛同者の皆さんをお誘いすることを決めました。5月11日現在よびかけ人11人、賛同者120人です。

発会総会は6月10日(土)午後2時から、会場は九州国際大学2号館2階(2204教室)安部千春弁護士記念講演を予定しています。たくさんの方の参加をお待ちしています。

(行動・会議などの予定)

5月23日(火) 18時30分 生涯学習総合センター

北九州憲法ネット代表世話人・事務局合同会議

6月4日(日) 小倉ネット駅前宣伝・署名 11時、小倉駅前デッキ

6月14日(水) 18時30分 生涯学習総合センター

地域・職場「九条の会」交流会 (北九州憲法ネット呼びかけ)

*内容は、各九条の会からの発言・交流と、6月10日に東京で開かれる「全国九条の会・交流会」参加報告です。

カンパのお願い
北九州憲法ネットの活動支援
カンパをお願いします。
郵送料金などの活動費用に充
てます。同封の振込用紙をご利
用ください。
ご協力よろしくお願ひします。

護憲コラム

屋根裏の遠い旅

那須正幹(なすまさもと)著「屋根裏の遠い旅」を読んだ。3日の北九州憲法集会で那須氏が講演するので会場で売っていたものだ。彼が、その日の講演でも話していたが、戦争物は余り書かないそうで、この本は、彼の著作では希少な部類にはいる。小さな、少年・少女向けの冒険小説であるが、最初のページに日本国憲法九条が印刷されている。1975年に出された本である。20年もまえから、憲法九条を題材として児童向けに書いている著者の姿勢に頭が下がる▼この作品は、二人の少

年が「太平洋戦争に勝った日本」という、いわば異次元の世界に迷い込む物語だ。このような私たちが住む世界とどこかで分かれてしまうもう一つの世界のことを「パラレルワールド」というそうだ。この作品でも、一歩間違えばこのような世界になりかねないという、いわば近未来的リアリティーを出すことに成功している。二人が迷い込んだこの世界は、戦争を続けており、警察や憲兵が常に人々の行動を監視している。子供たち同士までお互いにスパイ呼ばわりしたりする極めて陰湿な世界とな

っている▼最終的には、二人の少年は、この世界に残る決断をする。「けったくそ悪い日本の中で精一杯たたかっていたいくしかない」とけなげにも決意する。今のこの日本も、少年たちが迷い込んだ異次元の日本に近づきつつあるような気もする時がある。「国民保護法」という戦前の国民動員の発想の法律できた。憲法を改悪すれば、いつか来た道に国民を連れて行ける。私たちも、この少年のように「たたかうしか道はない」のだ。(太)

